

2020年2月25日

各位

インフラファンド発行者名

カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人

代表者名 執行役員

中村 哲也

(コード番号 9284)

管理会社名

カナディアン・ソーラー・アセットマネジメント株式会社

代表者名 代表取締役社長

中村 哲也

問合せ先 財務企画部長

柳澤 宏

TEL: 03-6279-0311

出力制御による本投資法人の運用資産への影響に関するお知らせ

2020年2月19日、20日、21日、22日及び23日に九州電力株式会社（以下「九州電力」といいます。）が出力制御（以下、「本出力制御」といいます。）を実施したことに係り、この期間におけるカナディアン・ソーラー・インフラ投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の保有資産の状況について、下記の通りご報告させていただきます。

記

1. 本投資法人の本出力制御の状況

九州電力の一日単位の出力制御の指示に基づき、本出力制御実施日の8時から16時の間、以下の発電所（以下、「当該発電所」といいます。）の全パワーコンディショナーシステム（PCS）を停止し、16時には全PCSを再稼働する作業が実施されました。

2月19日

S-06_CS伊佐市第三発電所(2.23MW)

2月20日

S-02_CS伊佐市発電所(0.93MW)

S-04_CS伊佐市第二発電所(2.01MW)

S-05_CS湧水町発電所(1.74MW)

S-09_CS芦北町発電所(2.34MW)

2月21日

S-01_CS志布志市発電所(1.22MW)

S-10E_CS南島原市発電所(東)(2.23MW)

S-10W_CS南島原市発電所(西)(1.69MW)

S-13_CS益城町発電所(47.69MW)

2月22日

S-08_CS日出町発電所(2.57MW)

2月23日

S-01_CS志布志市発電所(1.22MW)

S-02_CS伊佐市発電所(0.93MW)

S-04_CS伊佐市第二発電所(2.01MW)

S-05_CS湧水町発電所(1.74MW)

S-06_CS伊佐市第三発電所(2.23MW)

S-09_CS芦北町発電所(2.34MW)

S-10E_CS南島原市発電所(東)(2.23MW)

S-10W_CS南島原市発電所(西) (1.69MW)

S-13_CS益城町発電所(47.69MW)

2. 本出力制御による本投資法人の運用状況への影響

本出力制御による影響は以下の通りであり、本投資法人は、係る事象が本投資法人の運用に与える影響は限定的と考えております。

当該発電所の今期の 予想発電量 (P50 (注 1) ベース、以下同 じ) に対する逸失発 電量の比率	当該発電所の今期の 予想賃料収入に対す る逸失変動賃料収入 の比率 (注2)	当該発電所の今期の 投資法人のポートフ ォリオ全体の予想発 電量に対する逸失発 電量の比率	当該発電所の今期の 投資法人のポートフ ォリオ全体の予想賃 料収入に対する逸失 変動賃料収入の比率 (注2)
0.956%	0.287%	0.538%	0.161%

なお、本出力制御による逸失変動賃料は約3,778,000円、2020年6月期における本年1月以降の出力制御に伴う逸失変動賃料と合算すると約7,222,000円と想定しており、今期の本投資法人のポートフォリオ全体の予想賃料収入に対する逸失変動賃料収入の割合は0.308%です。

(注1) 超過確率P (パーセンタイル) 50の数値 (50%の確率で達成可能と見込まれる数値を意味します。)としてテクニカルレポートの作成者その他の専門家によって算出された発電電力量をいいます。本投資法人の保有資産の賃料は、基本賃料と実際の発電量がP50ベースで想定される想定発電量の70%を上回った場合に発生する実績連動賃料の組み合わせとなっています。

(注2) 本投資法人が受け取る固定賃料は、月ごとにP50ベースでの想定発電量をもとに計算しております。本逸失変動賃料は、当該出力制御以外の日の発電量をP50で発電したと想定した際の逸失分となります。

3. 出力制御による本投資法人の運用資産への影響の開示について

出力制御に関しては、他の電力会社管内を含め、出力制御の実施対象となった場合はお知らせいたします。今後の開示のタイミングについては、出力制御が月曜日から翌週日曜日の間に実施された場合には翌週月曜日 (休日の場合は翌営業日) に合算して開示いたします。

以 上

本投資法人のホームページアドレス：<https://www.canadiansolarinfra.com>